

製品名: C2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86565**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	Calculated MW:83 kDa; Observed MW:100 kDa

抗原情報

遺伝子名	C2
別名	CO2; ARMD14
遺伝子 ID	717
SwissProt ID	P06681
免疫原	ヒト C2 の合成ペプチド

背景

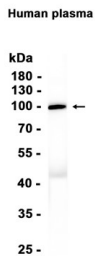
成分 C2 は血清糖タンパク質であり、補体系の古典経路の一部として機能します。活性化 C1 は C2 を C2a と C2b に切断します。その

後、セリンプロテアーゼ C2a は補体因子 4b と結合し、C3 または C5 コンバーターゼを生成します。C2 の欠損は特定の自己免疫疾患との関連が報告されており、この遺伝子の SNP は加齢黄斑変性に対する感受性の変化と関連付けられています。この遺伝子は、6 番染色体短腕の MHC クラス III 領域に局在します。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。追加の転写バリエーションが文献で報告されていますが、その全長配列は決定されていません。[RefSeq 提供、2009 年 3 月]

研究分野

-

画像データ



C2 ウサギモノクローナル抗体を 1:5000 で使用して、ヒト血漿組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。